

令和7年度 第1回 夕張市学校運営協議会 議事録

1 開催日時 令和7年5月19日(月) 18:00~19:00

2 開催場所 拠点複合施設りすた 多目的室2

3 協議会の内容

- 1 開会の言葉
- 2 教育長挨拶
・夕張市教育委員会教育長 小林 広明
- 3 各委員自己紹介
- 4 事務局から説明
- 5 令和7年度学校経営の概要について(年間行事等紹介・教員の労働状況など含む)
 - (1) 夕張市立ゆうばり小学校
 - (2) 夕張市立夕張中学校
 - (3) 質疑・応答・熟議
 - (4) 承認について
- 6 閉会の言葉

4 委員意見一覧

- ▷各学校の経営方針を聞いて、1人ひとりの個性にあわせた授業実践に繋がっていると感じた。
- ▷保護者が家庭教育の大切さについて理解を深められるように、様々な投げかけを学校からできれば、それによって子どもたちの意欲が高まり、授業での学習も効果が高まるのではないか。
- ▷家庭においては、いわゆる勉強だけでなく、本と一緒に読むなど、親子で過ごす時間を大切にすることも重要な教育だと思う。
- ▷子どもの心理的安全性を中心に据えた学校経営方針に共感できる。まずは大人同士で実践する。
- ▷以前に、髪を染めた子が転入してきた時に、(保護者として、また地域の大人として)どのように受け止めて(自身の子どもに)対応すべきか、疑問を持つことがあった。小中校の校則の違いを改めて意識させられた。小中一貫の教育を進めていく中でこのようなことが少しずつ解消され、大人も子供に誠実に対応できるように、整理されていくとよい。
- ▷子どもたちに「ゆだねる」授業がこれからも継続するとよい。

- ▷子どもたち全員が学校で安心できているのか、丁寧に子どもにフォーカスし、状況に応じて指標を設定することで、心理的に安全といえる環境を作っていってほしい。
- ▷タブレットを持ち帰られるのはよいことだが、家庭のネット環境がどのような状況なのか、気を配る必要がある。
- ▷子どもたち全員が意欲的に学習に取り組むためには、社会全体で様々な体験ができるよう環境づくりが必要だ。地域には子どもたちの意欲を引き出す力がある。力を合わせて社会教育に取り組んでいきたい。
- ▷子どもたちにとってこれはよいことなのか、ということを根拠として、様々なことに取り組む必要がある。保護者・地域の方々の意見を吸収し、それを力にこれからも全員で取り組みたい。
- ▷協議会から始まった事業として「ファミスタ」（子どもたちの家庭での学習状況を保護者とも共有しながら記録し確認する、家庭教育充実のための事業）があるが、子どもたちへの学習の「動機づけ」になっているのか検証が必要である。今年1年間かけて検証し、今後どのように事業を進めるか、あるいは廃止するか、年度末の協議会内で検討したい。